

お~ばらのじかん

第25号

2022 Spring

卷頭
特集

ちょっと前の昔から古代まで～
おばらのむかし！

じえを想像
して

[ようこそ小原へ『仲間と小原で拠点づくり』]
[マンガ イカくんキンちゃんの小原日記]
[小原いろいろ情報]



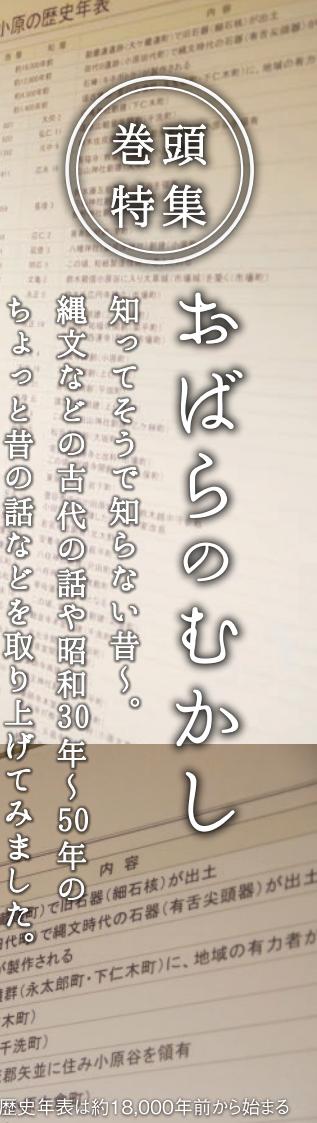
小原人集まれ！「おばちゅう卒」以外でもOK
www.facebook.com/obachuu

おばちゅう
以外でもOK

おばらのむかし

知つてそうで知らない昔。
縄文などの古代の話や昭和30
ちょっと昔の話などを取り上

おばらには今から約18,000年前の旧石器時代から
脈々とこの地に人が住んでいた痕跡があります。
今も昔も人が暮らしていくための最低限の生活はさほど
それは食べること、寝ること、そして子孫を残すこと。
そのためには水のあるところ、森や川で食料が手に入る

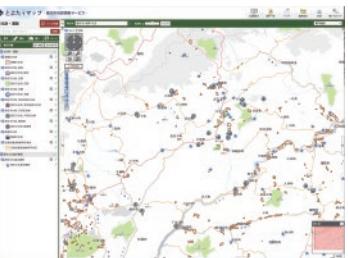


『とよた-iマップ』とは豊田市
のさまざまな情報を一つにまとめて表示、検索できる地図
情報システムです。

とよたiマップ(スマホ版)



とよたiマップ(PC版)
<https://www2.wagmap.jp/>
toyotacity/Portal



※1 遺物散布地とは
土器や石器などが散布または土
中に包含している遺跡で、その内
容や性格が十分に明らかでない場
合の呼称。



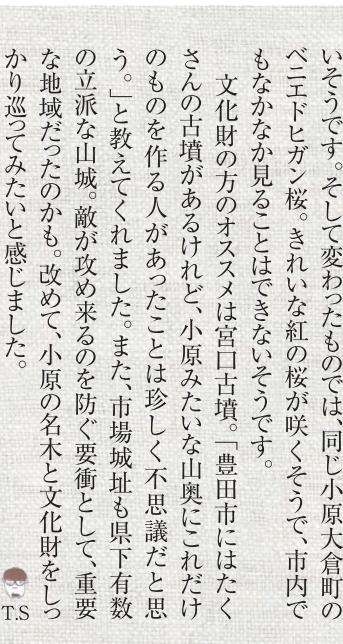
～古代のおばら～おばらの
今日は豊田市の古代遺産
などに詳しい地域人文化学者
研究所の天野博之さんをお招き
迎えし、お話を伺いながら小原
を巡りました。

小原の中にいくつ遺跡がある
か知っていますか?なんと
62箇所もの遺跡があります。

時代別では縄文時代が8
箇所、古墳時代3箇所、中世
27箇所、近代5箇所、時代が
またがっている遺跡が19箇所
です。

種類別では古墳が6基、城
跡12箇所、窯跡5箇所、祭祀
場亦が1箇所、あとは『1貴

おばらには今から約18,000年前の旧石器時代から
脈々とこの地に人が住んでいた痕跡があります。
今も昔も人が暮らしていくための最低限の生活はさほど変わりません。
それは食べること、寝ること、そして子孫を残すこと。
そのためには水のあるところ、森や川で食料が手に入ること、
そして、あたたかく安心して眠れる場所があることが
遠い昔から今へと受け継がれてきました。



A wide-angle photograph of a dense forest on a hillside. The foreground is covered in fallen leaves and pine needles. In the middle ground, a clearing is visible where several ancient burial mounds (kofun) are located. The background shows more of the forested mountain slope under a clear sky.

おばらの昭和30～50年代

「あそこには昔、饅頭屋があつてね」「今で言う、移動販売をやつたらしたお店があつたのよ」

「農林高校の分校が今の中学校の所にあって、そこに通つていたよ」

「ちょっと昔の小原の話を聞かせてください！」とお願いをして、昭和30～50年代の小原を知る方々に集まって頂くと、地図や書籍を持ち寄つて話に花を咲かせてくださつた。

「大草にあつた商店街にかかる電光式アーチ『永太郎の旧道沿いに並んだあんまき屋さん』時計屋さん』上仁木には百貨店、下仁木にはお饅頭屋さん』話を聞けば聞くほど、知らない小原が見えてきた。

玉突き所には若者が集まり、子ども達が川で遊んでいると、カラランカラランと鐘を鳴らしてアイスキヤンデー屋がやって来くる。

現在の支所周辺の土地開発の途中では、削った山でラリーも行われた事があつたそうだ。高校生達が後輩を呼び出し、お説教をした小原中学校近くの忠靈塔広場は、今では立ち入り禁止になつていて、忠靈塔はふれあい公園に移されている。

玉突き所には若者が集まり、子ども達が川で遊んでいると、カラランカラランと鐘を鳴らしてア

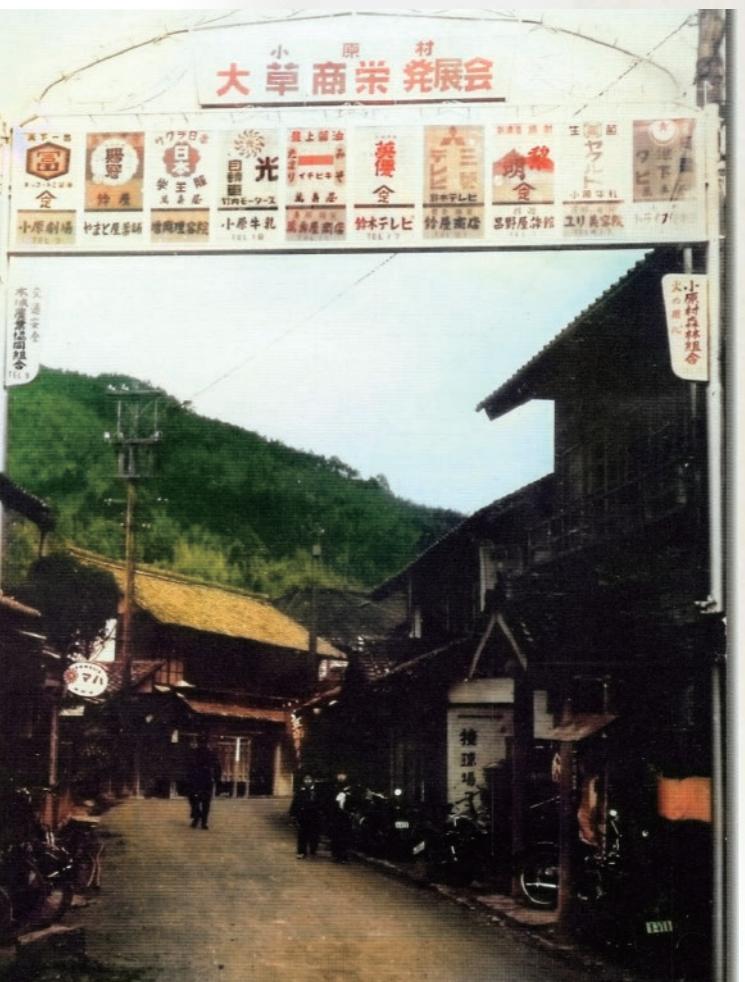
イスキヤンデー屋がやって来くる。

現在の支所周辺の土地開発の途中では、削った山でラリーも行われた事があつたそうだ。高校生達が後輩を呼び出し、お説教をした小原中学校近くの忠靈塔広場は、今では立ち入り禁止になつていて、忠靈塔はふれあい公園に移されている。



話の中でも花形はやはりこの場所。
「コンビニの所には『宝城座』と言つて歌舞伎や映画を上映する劇場があつた」。調べてみると、宝城座は昭和元年に小原村の大草（現小原町）に建てられ、当時は芝居のみが上映されていたそう。昭和13年頃から正月や盆などの祝祭日に映画を上映するようになり、映画館「小原劇場」となつた。「真ん中に花道があつて、畠で升席になつとつたから人が座つちゃうと通れないもんでね、碁盤の目状にずつと通路が作つてあつて、

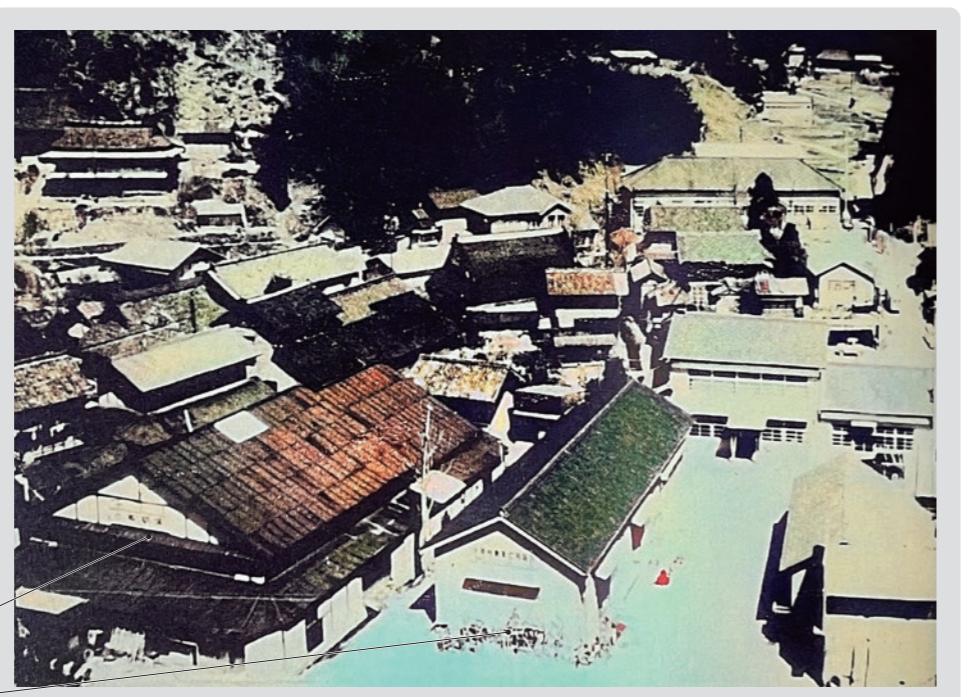
そこを通つてあつちいつたりこつち行つたりするだよ。その後にやつと椅子になつたんだわ」。集まつた方々はうんうんとその光景を浮かべて懐かしんでいた。「学校終わりに良く歩いて行つた。怪人20面相なんかを観にね」と話してくれた方のお家は千洗町。え、歩いて!? 聞き返すと「大草の辺りまでの近道があつたからねえ。1時間はかからなかつたかな」と、事もなさげにおしゃつた。「でも、怪談話なんか観てから帰るのはさすがに怖かつたね」。



昭和30年頃の大草商店街（現小原町）。右手前には撞球場と書いてありビリヤード場がある。看板には小原劇場の名もあり、看板の鈴屋商店さんがアイスキンディーを売っていたそう。写真は現品野屋さんから小原診療所方面を撮影したもの。（写真提供：竹内功氏）



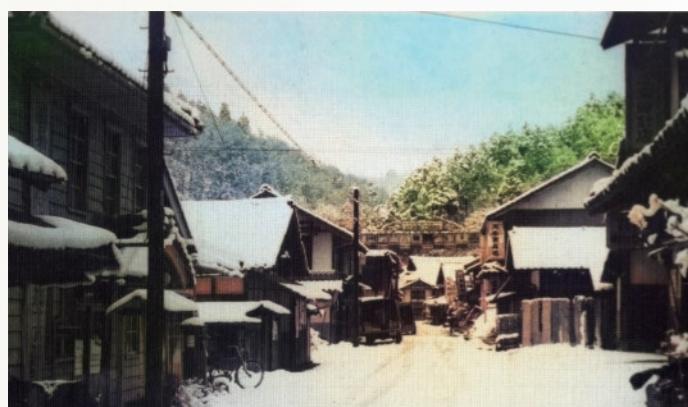
↑現在の小原町の写真。赤いラインあたりが右の写真的位置。左上の家だけが当時の面影を残している。



右の写真是、昭和40年頃の小原町。現市役所小原支所のある高台から見下ろした写真。（写真出典：目で見る豊田・加茂の100年郷土出版社より）

宝城座（現ファミリーマートあたり）

農協倉庫（現JAあいち豊田小原支店）



昭和35年頃の上仁木。奥に商店街入口のアーケードが見える。右手奥は旧小原郵便局。（写真提供：小境邦明氏）



昭和33年頃の小原中学校。人文字が描かれている。（写真提供：加納四郎氏）

続いての舞台は永太郎町。

どの方に聞いてもまず出てくるのが「あんまき屋さん」。長く続けていらっしゃつたこともあり、幅広い世代からお話をってきた。筆者も食べてみたかった。

そして、中学卒業で高校に上がる時には、永太郎の時計屋で腕時計を買つてもらうというのがつステータスだった、との話を耳にしたことがあつたので、永太郎界隈にお住いの方に聞いてみると、「そぞうう、あそこの時計屋さんと一緒に連れてついてもらつてね。SEIKOの腕時計を買つてもらつたよ」と嬉しそうに教えてくださつた。バスに乗つて外の高校へ行く方には必須アイテムだつた様だ。

さて、最後は上仁木町。

「私は岐阜の方からお嫁に來たんだけど、あんな便利な大都会へお嫁へ行けるなんて幸せ者だ！なんて言われたのよ」と言われるほど、旧道沿いには様々なお店が並んでいたそう。

「酒屋さんと百貨店でほとんど何でも揃つて、そりやあ便利だつた。今はみんな閉めちやつたけどね」と、少し寂しそうな目で語つてくださいました。

変わりゆく小原。

人口の減少と共に、必然的に店の数も減つていく。今なお、店を続けてくださつての方々に尊敬と感謝の意を送ると共に、これから的小原に必要なものとは何かを考えていきた。

Y.S



建屋正面側の壁面上部には2ヶ所に3つの穴が開いており、当時はその穴から電線で電気を通していたようです。現役の発電所でありながら大正時代当時の様子を知ることができる貴重な存在です。

建屋正面側の壁面上部には2ヶ所に3つの穴が開いており、当時はその穴から電線で電気を通していたようです。現役の発電所でありながら大正時代当時の様子を知ることができる貴重な存在です。



現存する木造建築の水力発電所としては県内唯一となる川下水力発電所。その名の通り矢作川沿いの川下町にある中部電力の施設です。川下水力発電所が運転開始されたのは1900年（明治33年）9月。中部電力管内でも3番目に古く、大正10年に火災により焼失し再建されました。愛知県内で現存する木造の水力発電所は、この川下水力発電所のみとなるそうです。

小原に県内唯一となる木造建築の水力発電所が？

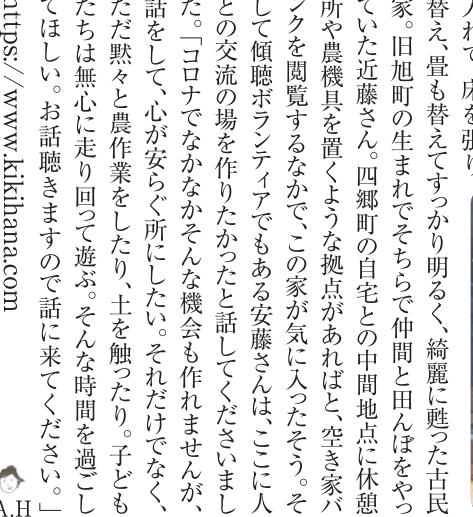


ようこそ小原へ『仲間と小原で拠点づくり』 安藤さん、近藤さん、民本さん

小原大倉町の古民家。日のよく当たる庭は広く、柿や栗の木、大きな椿の古木。もうすぐそこまでさして春を感じさせる草花の芽。空き家バンクを利用し転居してきた安藤さん・近藤さん・民本さんが迎えてくれました。築百年以上の古民家。もともと土間だったという居間でお話を伺いました。部屋の中は明るく、新しい畳の香り。襖が開け放つてある先の窓は開放感があり

ます。「もともとはこんなに明るくはないからたたかうんです」

それを暗渠で水を流すようにしたら、だんだんと乾いてきたそう。建物の基礎をやり直し、傾きを調整し断熱材を入れて、床を張り替え、畳も替えてすっかり明るく、綺麗に甦った古民家。旧旭町の生まれでそちらで仲間と田んぼをやっていた近藤さん。四郷町の自宅との中間地点に休憩所や農機具を置くような拠点があれば、空き家バンクを閲覧するなかで、この家が気に入ったそう。そこで傾聴ボランティアでもある安藤さんは、「ここに人話をして、心が安らぐ所にしたい。それだけでなく、ただ黙々と農作業をしたり、土を触ったり。子どもたちは無心に走り回って遊ぶ。そんな時間を過ごしてほしい。お話を伺うので話に来てください」



◆ 小原いろいろ情報

【6月19日(日)】

小原歌舞伎五月公演

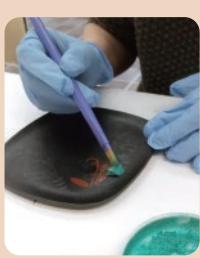
今年は新型コロナウイルスの影響などで期間をずらしての開催となります。

小原交流館「ザ・小原座」
電話0565(65)3711



【5月8日(日)】

漆芸家安藤氏が手掛けた和紙の漆コースターでキラキラとした蒔絵体験
地元小原の漆芸作家安藤源一郎先生との貴重な体験。
info@nikawa-satotobishi.fun



*イベントは新型コロナウイルスの影響により、中止や変更の可能性があります。



<https://www.kikihana.com>

おばら地区の物件を探すなら!

豊田市 空き家バンク 検索

www.city.toyota.aichi.jp/akiya/

小原の情報ページ
『おばちゅう卒』是非登録してね!
www.facebook.com/obachuu

STAFF
小原白写感

編集後記

たった50年ほど前でも、景色やお店などの変化があったり、永太郎町あたりは、古墳もあり古代に栄えていた可能性があり、小原の昔を想像しながらの取材でした。知らないことも多くて可能性を感じました。

T.S (今号編集長)

新しい時代をつくるには過去を知ることがひとつのヒントになるのではと思います。おばらの良さを改めて感じる取材となりました。おばらへ越して4年、この先まだまだおばらの魅力に出会えそうな気がします。

A.K

ずっとこの地で過ごして来た方々から聞くお話はとても貴重で楽しく、温かなものばかり。取材を通して、知らない小原を知れた事でますます小原に住む人達を好きになってしまった。I Love OBARA♡

Y.S

雪が多く寒かった冬。いっぺんに暖かくなって心も体も置いていかれがち。まずはスタッフドレスタイルを普通スタイルに替えるといい。新しい季節を楽しみに思える日常に感謝ですね。春よ来い。

A.H



ようこそ
おばら委員会

発行:2022年3月【ようこそおばら委員会事務局 豊田市役所 小原支所】

〒470-0592 愛知県豊田市小原町上平441-1 Tel 0565-65-2001 Fax 0565-65-3695

E-mail:obara-shisho@city.toyota.aichi.jp

今後、本誌の郵便を希望される方はご連絡ください。